

創刊にあたって

明海大学副学長・教職課程センター長

高野 敬三

ここに明海大学教職課程センター（METTS）2017年度「研究紀要 創刊号」をお届けする。

本学教職課程センターは、2016年2月の理事会において「教職課程センターおよび地域学校教育センター」の設立が認められ、その年の4月1日に開設された。本学の長い歴史の中で組織としてセンター化されたことの意味は大きい。本学浦安キャンパス講義棟の2階に10坪程度の元PCデータ室を若干改修してセンターはスタートした。

2017年度には、私どもにとってみると大きな変化が二つあった。一つは、育成組織としての教職課程センターが、2017年度末から大改築が施されて2018年4月にMETTSとしてリニューアルされることである。今一つは、研究組織としての本センターが発刊するこの「研究紀要」の創刊である。

2018年4月、これまで手狭まであったセンターは、広くそして開放的な、教職を目指す学生だけではなく、誰もが活用できる居場所として新しい空間として生まれかわる。私どもは、その総称を「METTS (MEikai Teacher Training Support)」とし、広く教育実践を進めていく。次号の研究紀要には、このMETTSの活動報告ができることと思う。

そして、ここに教職課程センター「研究紀要」が創刊されることによって、METTSが育成機関としてだけでなく、研究機関としての新たな顔を示すことができるようになった。

2017年度は、教職課程コアカリキュラムの作成にあたって将来の教職の在り方が問われた年度でもあった。本学も保護者の方々からお預かりしている教職履修学生をどのような使命感、指導力、人間力をもった教員に育てるかの議論を重ね、カリキュラム内容を精査した一年間であった。新しいカリキュラムでも「主体的・対話的で深い学び」を実践できる指導力は勿論のこと、心の機微を的確にそしてスピードをもって対応できる学生を育成できるものと自負している。

創刊号では、明海大学教職課程センターの今をお伝えする。今号では、本学と教育連携を進めている足立区との研究論文、そして今年度の教育実践報告を含めて4編を収録することができた。本誌の刊行にあたってご協力いただいた先生方には厚く感謝申し上げます。私どもは、今後も教員養成の適切な在り方を精力的に研究・実践していく所存である。その中で多くの方々からご意見を頂戴できれば幸いである。